

## ビデオセッション 4

### 「上部消化管出血の診断と治療の工夫」

司会 浦岡 俊夫（群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学）  
八田 和久（東北大学消化器病態学分野）

上部消化管出血に対しては内視鏡治療が広く行われているが、いまだ止血困難例が存在し、IVR や外科手術に至る例もある。一方で、近年では RDI 観察や gel immersion endoscopy のような新たな出血点診断の工夫、ペプチド由来吸収性局所止血材のような新しい治療法が報告されてきている。本ビデオセッションでは、非静脈瘤性上部消化管出血（内視鏡切除後出血を含む）の診断と治療の工夫やコツについて、動画を用いてご提示頂き、明日からの診療に役立つ議論を行いたい。